

答 楽都と防災環境都市・仙台という本市の都市個性を掛け合わせ、より豊かな文化や交流を生み、地域経済活性化にも寄与する新たな文化創造発信拠点を上げたいと強く思う。青葉山エリアに立地する強みを生かしつつ、国内外から多くの人をひきつけ、市民が誇りに思う、仙台を象徴する施設を目指し、具現化に向けた検討を鋭意進めている。

全国都市緑化仙台フェアへの決意

問 仙台フェアでは、交流人口回復を目指すとともに、仙台が誇るみどりのまちづくりと併せ、伊達文化や震災からの復興を内外へ発信することが大変重要。市長の決意を伺う。

答 仙台フェアは、杜の都・仙台のまちづくりを進めるとともに、青葉山エリアの自然や歴史文化等の魅力を発信し、交流人口を力強く回復させる好機と認識している。開催を通じ、花とみどりにあふれるまちづくりの輪が全国へさらに広がる契機となるよう全庁一丸で取り組む。

その他の主な質疑項目

- 泉区役所建て替えによる周辺地域の交通問題解決とにぎわいづくり
- 新型コロナウイルス感染症対応
- 4病院再編問題に係る対応
- 製品プラスチックの一括回収・リサイクルの周知広報
- ガス事業の健全運営と民営化

☆決算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 仙台らしい都市像づくりでは市民不在とならない進め方を
- 全庁を挙げたいじめ対策
- 「社会を明るくする運動」の関係部署の連携の重要性
- 国防における本市の役割と国民保護法に基づく取り組み
- 全ての政策の根拠は危機管理
- 孤立社会への本市の対応



朝友である
カキノキマンと
ツインシヨット

原野小学校シンボル

宮城野中学校
同窓会
入会式



文化振興に力を入れています(宮城県ポルルームダンス連盟とともに)

2022年 第4回定例会(令和4年12月7日~12月22日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 自転車関連条例に定める市民等の責務の確認と実践、中学校での交通安全教育徹底を
- 大学等連携で起業家支援強化
- 大学等との連携と専門職員育成強化で科学館機能向上を
- 理科教育で大学と教育委員会の連携強化を図れ
- 物価高騰下の納入業者等対応
- 個人所有の保存緑地の課題
- 職員の士気高揚を図れ

~令和5年~ 定例会

2023年 第1回定例会(令和5年2月10日~3月14日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 学都仙台の特色を生かし、初等中等教育と大学との連携をより一層充実させるべき
- 高齢化により、地域での家庭ごみ収集の対応が困難
- 戸別収集の実施を検討すべき。
- 子育ての負担軽減のため、学校給食費の無償化を
- 食肉市場の運営支援に本市が主体的に取り組むべき

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 大学等高等教育機関とのネットワークを意識した取り組み
- 国民保護実働訓練は市民も参加する実質的な訓練に
- 市長は東日本大震災での対応の経験を生かし、想定外にも対応できる災害対策を
- 想定外に対応できる職員育成を考慮し災害用BCP運用を
- 女性防火クラブへの支援を

仙台市議会 宮城野区

渡辺 博 ひろし



健康都市宣言60周年 「市民のすべてが、健康で文化的な生活を営むことのできる都市」の実現に邁進します

産業、交通、建設、教育、文化、民生等あらゆる施策をここに結集します(昭和37年3月16日議決) 抜粋

仙台市は特別自治市の実現を目指しています

地域の夢を実現するのが議員の役目です

ごあいさつ

渡辺 博

仙台市議会議員

皆様お元気で過ごしのこととお喜び申し上げます。私もお陰様で元気に仙台市議会議員として活動を続けております。これも皆様のご支援のたまものと感謝申し上げます。

令和5年度の予算案を審議する第1回定例会も3月14日を以って閉会を致しました。提案された議案はすべて重要案件を中心に一つひとつ丁寧に審査をして参りました。



初心忘るべからず

是非の初心、時々々の初心、老後の初心 「花鏡」

市政報告

公式ホームページ /

渡辺ひろし 検索

[令和5年 春季号] <https://hiroshidesu.net/>

事務所 〒983-0841 仙台市宮城野区原町二丁目1の35
TEL 293-2313 FAX 792-9061

宮城野中学校同窓会会長 / 元原町小学校PTA会長
榴岡小学校同窓会顧問 (校舎新築委員長)

昭和62年4月 初当選 現在9期

プロフィール

仙台市立榴岡小学校
仙台市立宮城野中学校
宮城県仙台第一高等学校
宮城教育大学 特設教員養成課程(高校数学)一学年修了
東北工科大学卒業
国会議員秘書

「新型コロナウイルス感染症パンデミック」に翻弄された3年間でしたが、新年度からは心機一転ステージを上げて国、市は国民・市民の福利の向上のために大胆な取組みをしていかねばなりません。全国に先駆けて議決した「健康都市宣言」から60年、今こそ原点に立ち返りましょう。又、市民の「安全安心の確保」のため危機管理体制の強化が求められます。「子育てしやすい仙台」「経済活力の向上」「学都仙台の優位性を生かした義務教育」「産学官金連携」による新しい企業の創出等引き続き取り組んで参ります。

更に仙台市が携え取組むべき市政課題解決のため「特別自治制度」の実現に向けて取り組んで行きます。仙台市民の更なる福利の向上のためにも宮城県のみならず東北全体を牽引するためにも必要な制度改革です。

仙台市長とともに早期実現のために全力を尽して取り組んで参ります。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

各種SNSも随時更新しています!



令和5年 第1回定例会本会議 一般質問

1. 震災発災12年、発災当時72時間の検証と本格訓練の実施
2. 学校給食無償化の検討
3. 家庭ゴミ収集体制の見直しと戸別収集
4. 子育てしやすいまちを実感できる政策のアピール
5. 学都仙台の持つ力の行政への具体的活用と市民福祉の向上

政令市仙台は運営上・制度上の課題を抱えています。その解決のために取り組んでいます。

仙台市民の更なる福利向上のために

仙台市が目指す大都市のあり方 ～特別自治市制度の実現に向けて～

政令市に移行し権限は多くなりましたが、課題が見えてきています。

仙台市が期待されそして荷うべき課題解決に必要なのが「特別自治市の実現」です。

現在の指定都市制度が抱える課題

指定都市制度は、道府県から独立した特別市制度を廃止する代わりに、一定の権限と財源を与える中間的な制度として暫定的に設定されたもので、行政上・財政上の課題があります。

課題1：指定都市と道府県がそれぞれ同種の事務を処理

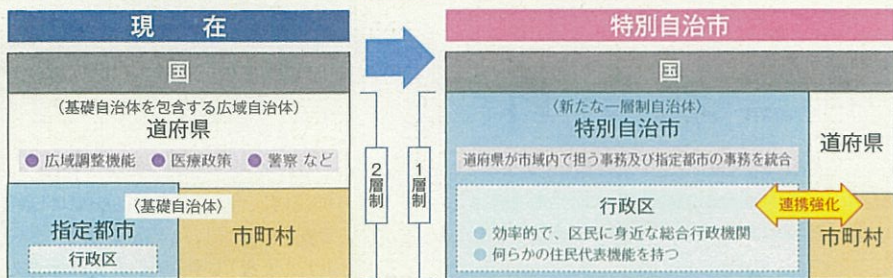
指定都市と道府県との間で事務・権限が分かれていることにより、窓口の分散やいわゆる二重行政の問題など、非効率的な状況が生じています。

課題2：指定都市の役割・仕事量に見合わない税財源

地方税制は事務・権限に関わりなく画一的であるため、大都市の特例事務に必要な財源については、税制上の措置が不十分です。

新たな大都市制度「特別自治市」の法制化に向けて多様な大都市制度の早期実現を目指しています。

指定都市市長会では、これらの課題を踏まえ、基礎自治体優先の原則の下、住民がより良い行政サービスを受けられるよう、「特別自治市」制度の法制化など、地域の特性に応じた多様な大都市制度の早期実現を目指しています。



出典：指定都市市長会ホームページ <https://www.siteitoshi.jp/opinion/background.html>

仙台市が目指すべき大都市のあり方（イメージ図）



取り組み① 特別自治市制度の法制化に向けた活動
指定都市市長会と連携しながら、国などへ法改正を求める要請を行うとともに、様々な機会を捉えて制度理解の促進に努めます。

取り組み② 本市主催イベントで広報物を配布
市民の方が参画するイベントで広報物を配布するなど、これまで以上に分かりやすい広報を行います。

渡辺 博

(宮城野区)

代表質疑・一般質問抜粋



仙台市議会
定例会

4年連続本会議登壇(議会議決)

一般質問 特別委員会質問

～令和4年～ 定期定例会

2022年 第2回定例会(令和4年6月9日～6月24日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 必要時はためらいなく救急車を利用するよう市民広報を
- 児童の安全確保のため児童館本館は学校近くに設置すべき
- のびすく宮城野の単独館化
- 大学との連携の仕組みづくり
- 交通指導隊へのアンケート調査結果にできる限り対応を
- スケアード・ストリート：活用
- 利用しやすい例規集へ見直し

スケアード・ストリート

実際の交通事故の模様等をプロのスタントマンがその場で再現することで、事故の状況や原因を具体的に伝え、交通ルール順守の大切さを実感させることを目的とした交通安全教育の手法の一つのこと。

会派代表質疑

市営バスと市営地下鉄の収支改善に向けた取り組み

問 市民の足を守る大切な公共交通として、市営バスと市営地下鉄の収支改善を速やかに進めるべき。今後の新たな取り組みを伺う。

答 市営バスの便数調整や運賃改定、市営地下鉄の駅業務委託の拡大等を予定しているが、さらなる取り組みが必要と認識しており、厳しい経営状況で収支に与える影響が大きいイクスカポイント制度の見直しの検討が必要と考えている。

県が公表した新たな津波浸水想定への対応

問 県の新たな津波浸水想定で浸水が想定される地区の世帯・人口について伺う。併せて、地域ごとの避難計画等の見直しと市民への周知方法について伺う。

答 概算で最大1万9千世帯、4万人を見込む。8月から説明会を開催して避難方法の周知を図り、11月に避難訓練を実施する。

その他の主な質疑項目

- 補正予算編成のポイント
- デジタル商品券のお得感とは
- 給食の材料費高騰への対応
- 家庭ゴミ等指定袋の値上げと在庫枯渇
- 市立高校への情報端末整備方針
- 交流人口の回復・拡大に向けた取り組み
- 女性・若者活躍推進会議について
- 福島県沖地震被害へのグループ補助金活用の促進、仙台城跡復旧
- 災害文化の発信、仙台防災枠組の進捗(しんちよく)への評価と意義
- 隠れ待機児童、兄弟姉妹別施設入所の対応と欠員問題の認識
- 東部のにぎわいづくりの取り組み
- 4病院再編への市長の今後の対応



仙台市と東北大学の
連携強化のため東北大学本部訪問

市民の安全安心へ 市長と連携



2022年 第3回定例会(令和4年9月5日～10月6日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 図書館への民間活力導入の検討に当たり、市が責任を持って整備と充実を図るべき
- 関係局区が連携した「社会を明るくする運動」への支援
- 国内外を知る市民の知見を取り入れた都市の魅力づくり
- 職員の意識向上や能力開発に資するカイゼンアイデア育成制度のさらなる活用
- 特別自治市制度の実現に向けた積極的な取り組みと市民への制度周知

会派代表質疑

音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設の整備

問 音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設は、青葉山エリアの魅力をもさらに高め、世界に向けた本市の都市個性の発信と地域経済活性化に資する施設とすべき。青葉山エリアに二つの施設を複合化させて整備する市長の思いを伺う。